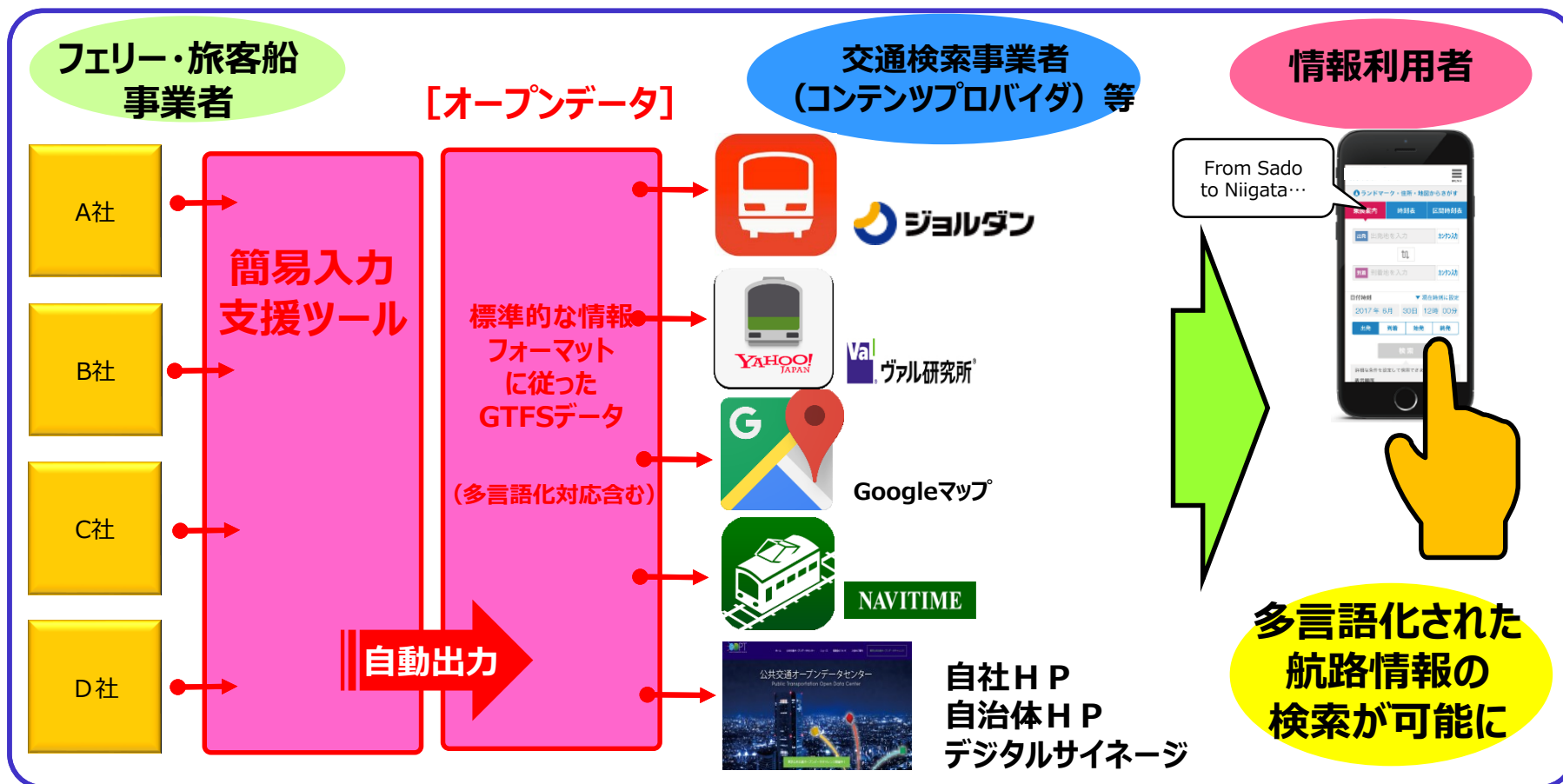


## 内外向け航路情報検索システムの基盤整備の推進について

- 2019年4月、「標準的なフェリー・旅客船情報フォーマット」、「簡易入力支援ツール」及び「ガイドライン」を作成し、国土交通省ウェブサイトに無料で公開。
- 同フォーマットは、寄港地、時刻及び運賃等、航路の基本的な情報を標準形式（GTFS）により規定。
- エクセルの「支援ツール」に必要項目を入力するだけで同フォーマットに従ったGTFSデータが出力、事業者自身による入力負荷が相当に軽減。
- 事業者自身により自社航路情報のGTFSデータをオープン化すること、交通検索事業者等へ提供することが可能。

## 交通検索事業者等への情報提供及びオープンデータ化フローイメージ



- 現在、一般旅客定期航路事業者を対象に、事前調査として、航路情報のデータ整備状況や経路検索サービスへの掲載状況等について、アンケート調査を実施中。
- 調査結果等に基づき、①「標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマット」の機能向上、航路事業者に対し②GTFSデータ化及び③講習会等の支援を行うことにより、航路情報のGTFSデータ化促進を図る。

## ① 既存フォーマットの利便性機能向上

- ◆ 今年4月に公開した「フェリー・旅客船航路情報フォーマット」及び「簡易入力支援ツール」の利便性機能向上の実施。

### 【利便性機能向上の想定】

- ・支援ツールにおける入力フォームの平易化
- ・データ化対象情報の拡充
- ・運休情報等のアラート機能等の機能追加 等

## ② 航路情報等のGTFS化支援

- ◆ 以下の条件に該当する航路を50～100程度選定し、航路情報等のGTFSデータ化支援（多言語対応を含む）。

### 【対象航路の想定】

- ・国際空港・港湾へのアクセス航路
- ・国内幹線航路
- ・観光地へのアクセス航路
- ・離島へのアクセス航路 等


## ③ GTFS策定・更新のための講習会等の実施

- ◆ ①で改良したフォーマット及び作成ツールを用いて、事業者自身により、データ作成・更新等ができるようにするため、事業者向けのマニュアルを作成するとともに、講習会を開催する。
- ◆ また、地方運輸局担当者が航路事業者へアドバイスできるようにするため、担当者向けのマニュアルを作成。



**航路情報のGTFSデータ化促進へ**

## 取組成果

- ◆ 航路情報のデータ整備状況や経路検索サービスへの掲載等についてアンケートを実施。
  - Q. GTFSデータを提供し、航路情報を提供したことによって、どのような効果があったか
  - A. 新規のお客が増えた。外国人のお客様に利用されるようになった。問い合わせが増えた。  
(回答の一部を抜粋)
- ◆ 以下の機能をフォーマット作成ツールに新たに追加。マニュアル等も大幅に改定。
  - ・シェイプ機能 (地図上に航路を描写する機能)
  - ・アラート機能  新ツール等は2020年3月にHPにて公開
  - ・ダイヤ情報の入力簡易機能
- ◆ 調査の結果、66者94航路にGTFSデータ化の意向ありとの回答。  
新ツールのエクセルに必要情報を記入したうえで、事業者にデータとツール一式を送付
- ◆ GTFS策定・更新のための講習会は、新型コロナウイルスの影響で中止  
代わりにセミナーで講習予定であった関係者を集め、オンラインセミナーを実施し、その様子を撮影した動画を公開するとともに、ツールの解説動画を作成、公開。



**事業者が航路情報を容易にGTFSデータ化できる環境が着実に整いつつある**



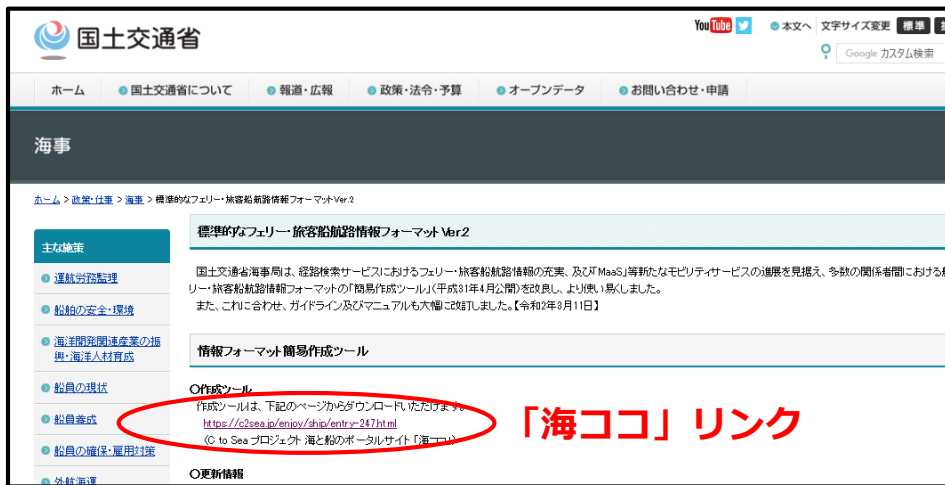
**今後は、事業者が作成したデータを広く一般に公表し、活用してもらうことが重要**  
**(航路情報のオープンデータ化と利活用の推進)**

新ツール、フォーマット等は、国土交通省ホームページ内航課のページで公開しています。

標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマット作成ツール Ver.2  
[http://www.mlit.go.jp/maritime/maritime\\_tk3\\_000061.html](http://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_tk3_000061.html)

国土交通省ウェブサイトから…

「海ココ」サイトでDL可能！



国土交通省

ホーム 国土交通省について 報道・広報 政策・法令・予算 オープンデータ お問い合わせ・申請

海事

ホーム > 政策・広報 > 海事 > 標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマット Ver.2

標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマット Ver.2

国土交通省海事局は、経路検索サービスにおけるフェリー・旅客船航路情報の充実、及びMaaS等新たなモビリティサービスの進展を見据え、多岐の関係者間におけるフェリー・旅客船航路情報フォーマットの「簡易作成ツール」(平成31年4月公開)を改良し、より使い易くしました。また、これに合わせて、ガイドライン及びマニュアルも大幅に改訂しました。【令和2年3月11日】

情報フォーマット簡易作成ツール

作成ツール

作成ツールは、下記のページからダウンロードいただけます。  
<https://c2sea.jp/enjoy/ship/entry-247.html>  
© to Sea プロジェクト 海と船のポータルサイト「海ココ」

○更新情報

**「海ココ」リンク**



船に乗る 2020.03.26

(旅客船事業者向け)航路情報フォーマット作成ツールを改良しました

「標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマット」を作成

今般、標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマットの「簡易作成ツール」(平成31年4月公開)を改良し、より使い易くしました。事業者の方々におかれましては、ぜひ積極的なご活用をお願いいたします。

○作成ツールは、下記からダウンロードできます。

[作成ツールのダウンロードはこちら](#)

Ver2.1：内部的な修正を行いました。  
データ更新日：2020年3月25日

**DLリンク**

こちらをご覧ください

☆ フェリー・旅客船航路情報の標準化・オープン化セミナー・講習会動画  
[https://www.mlit.go.jp/maritime/maritime\\_tk3\\_000068.html](https://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_tk3_000068.html)

## □ VLEDについて

「一般社団法人オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構」(VLED)は、産官学が共同でオープンデータ流通環境の実現に向けた基盤整備を推進することを目的として設立(2012年7月)された、「オープンデータ流通推進コンソーシアム」の成果を引き継いで、2014年10月に設立(理事長:坂村健 東洋大学情報連携学部学部長)。

## VLED 利活用・普及委員会委員 (選定委員)

主査	中村伊知哉 (慶応義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授)
副主査	村上文洋 (株式会社三菱総合研究所社会ICTソリューション本部主席研究員)
委員	石川雄章 (東京大学大学院情報学環教授) 大向一輝 (国立情報学研究所教授) 川島宏一 (筑波大学大学院システム情報工学研究科教授) 小林巖生 (有限会社スコレックス代表) 庄司昌彦 (国際大学GLOCOM准教授) 福野泰介 (株式会社jig.jp代表取締役社長)
オブザーバー	総務省、内閣官房、経済産業省、国土交通省、農林水産省、日本経済団体連合会等

## □ 「勝手表彰」選定対象等

オープンデータに関する優れた取り組み、データ公開・活用に関する取り組み、また、データを用いた地方創生への取り組みなど。2013年度から始まり、今年度で7回目。

### ➤ 過去の受賞者 (最優秀賞)

- 2015年度：クルマと道の未来を描く もっと！ しずみちinfo (静岡市、トヨタIT開発センター)
- 2016年度：官民データ活用推進基本法 (立法に関わった各党各委員 (代表、衆議院議員 平井たくや氏) )
- 2017年度：法制執務業務支援システム (e-LAWS) 法令データのオープンデータ化 (総務省行政管理局)
- 2018年度：ダイヤ編成支援システム「その筋屋」(Sujiya Systems)



- 現状、交通検索サービスや地図アプリ（以下、サービス等という）上において表示される港名等の統一された命名ルールが存在しない。そのため、航路事業者や経路検索事業者が港名等をデータ化するにあたって表記ゆれが生じ、サービス等の利用者が入力する検索ワードによっては的確な検索結果が得られない場合がある。

## 表記ゆれ事例①

経路検索事業者：A社      経路検索事業者：B社



乗換案内

出発 新潟港 [佐渡汽船] (航路)

到着 両津港 (航路)

検索



結果一覧

2020/1/21(火) 16:03 - 出発

出発地 新潟港(万代島埠頭)

到着地 両津港

検索

## 表記ゆれ事例②

経路検索事業者：A社      経路検索事業者：C社



乗換案内

出発 広島 [宇品・FT] (航路)

到着 江田島 [切串栈橋] (航路)

検索



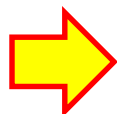
乗換案内

出発 広島宇品港

到着 切串港西沖<江田島>

検索

サービス等において使用する港名等の命名ルールが策定されることにより、表記ゆれが解消



**利用者が的確な検索結果を得られる環境を整備**